

防災塾・だるま 9月定例会議事録

開催概要

- 日 時：令和7年9月18日（木）13:30～14:30
- 会 場：県民サポートセンター11F 講義室1 + Zoom 併用
- 主 催：防災塾・だるま
- 出席者：役員および会員 会場19名 Zoom3名 合計22名

1. 開会あいさつ

鷺山塾長より開会の挨拶があり、防災塾の継続的な活動の意義と、本日の協議事項の重要性について述べられた。

2. 前回会議の報告・確認

- 会員名簿更新（早川担当）：重複・未記入部分を整理し、継続的に修正中。
- 新ホームページ運用（樋口担当）：PCを使って、最上部だるまロゴの横にある「メニューバー」の説明。各項目にカーソルを合わせるとサブタイトルが見られる。活用してHPに慣れて欲しい。
- 防災まちづくり大賞応募：神奈川県推薦で提出済み、結果待ち。
- 賛助会員制度・HP投稿規則：役員会決定内容を周知することを確認。

3. 今後の行事・事業計画

- 第208回談義の会（11/20）
 - 講師：小嶋洋氏（相模原防災マイスター）
 - テーマ：災害時障害者支援
- 防災減災体験フェア（11/22）

実験プログラム：地震・火災・風水害など、30分毎にミニ講座を実施。

受付・会場係：ブース要員（5名以上）を確保。液化化実験装置の提供
- 幟（のぼり）作成：防災塾・だるま幟を新規作成。
- エクステンション講座（12/6・12/13）：テーマ「マンション防災の最前線」。規模別意見交換形式で進行予定。



実験プログラム 2024年度

4. 広報・出版関連

- 『命を守る防災の教科書』
 - 会員レポート形式でHP連載を進行中。
 - 道徳（ボランティア）章を追記予定（10/15目安）。
 - 図表・写真追加のうえ未来防災NETで国語編から公開。
- 新チラシ：HP掲載・配布を開始。
- J-DAG授業（城西大学）：11/27に実施予定（9/22に内容・だるまの関わり方について飯塚先生と打合せ）。



5. 特別講演

- 講師：宮本英治氏（防災対策専門家）
 - テーマ：地震・停電被害の想定と介護施設における防災課題
 - 主な内容：
 - 被害想定と避難計画の重要性（避難場所と避難所の区別）。
 - 停電リスクへの備え。
 - 介護施設におけるBCPの策定、施設立地（高台移転等）の安全対策。
 - 職員の役割分担と初動手順の明確化、耐震・救助対応訓練の必要性。
-

6. その他の報告

- 防災かながわネットHP：予算継続を検討（早川）。
 - 防災・減災体験フェア協力金：10,000円を支出。
 - 役員名簿：HPに掲載準備予定。10月役員会で再検討。
 - ぼうさいこくたい2023：実績整理・証拠収集を継続。
 - 体験フェアー者県・市推薦申請：荏本名誉塾長による県庁訪問報告。
-

7. アクションアイテム

- 会員名簿確認と修正（早川）
 - 新ロゴデザインの検討（次回決定）
 - 緑色の幟作成（鷺山・早川）だるまの紹介文（キャッチフレーズ）を入れる
例：人的ネットワークによる防災まちづくり ロゴも挿入予定 11月決定
 - 防災・減災体験フェア受付（早川）、液化化実験装置貸与：当日参加できないため
（荻原）、講演（荏本）
だるまブース 鷺山 山田 樋口 田中晃 松原
 - BCP策定支援（理研キッズ伊藤）
 - 会員レポートの積極投稿
 - J-DAG勉強会（10/3）207回防災まちづくり談義の会と格上げ
参加呼びかけ（樋口）HPトップページ（最新活動情報）に掲載
-

8. 自由討議

- 来年度以降のプロジェクト提案や会議進行上の課題について意見交換。
-

9. 閉会あいさつ

荏本名誉塾長より総括。今後も「予防と実践の両輪」で活動を継続することを確認して閉会。

次回予定

- 9月22日 J-DAG 打ち合わせ 10:00～ 県サポ 11階コラボスタジオ

- 役員会：10月16日（木） 関内二研
- 第208回談義の会：11月20日（木） 県民サポートセンター
- 防災減災体験フェア：11月22日（土） 防災センター